

第14回日中韓3か国 地方政府交流会議を開催

(財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

当会議は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、3か国の国際交流機関（日本・自治体国際化協会、中国・中国人民対外友好協会、韓国・全国市道知事協議会）が主催し、1999年より毎年開催しているものです。

今年は7月30日から8月2日に亘り、中国雲南省昆明市において「第14回日中韓3か国地方政府交流会議」が開催されました。第14回会議の内容等について紹介いたします。

第14回会議について

今回の開催地である雲南省昆明市は中国の内陸部に位置し、北京や上海から3時間のフライトが必要であるにもかかわらず、234名（日本43名、中国129名、韓国62名）もの自治体関係者の参加のもと開催されました。

今年は「交流協力を深め、地方政府の共同発展を促進する」をメインテーマに、各国代表の主題発表や、日中韓3か国の共通課題である3つのサブテーマに基づいて、各国の代表が事例発表を行いました。また本会議翌日の8月1日、2日には、テーマに沿った現地視察が行われました。

主題発表

7月31日の本会議では、最初に3か国の代表者による主題発表がなされました。

日本からは神奈川県藤沢市鈴木恒夫市長に講演いただきました。開催地である昆明市と1981年に友好都市提携がなされたきっかけについて説明がありました。昆明市出身で中国国歌「義勇軍進行曲」の作曲者、聶耳氏ニエアルが1935年、藤沢市において急逝し、その死を悼んだ藤沢市民が1954年に記念碑を建立したことが交流の始まりであったということを知り、日中国交正常化よりはるか以前に、民衆の力でつながった交流が現在まで脈々と受け

継がれていることに対し、参加者も心を動かされていました。また、日中韓の関係を毛利元就の「三本の矢」に例えられ、「3か国のより強い結束がアジアや世界の平和と発展に貢献できる」と訴えられました。

サブテーマに基づく事例発表

今年は、日中韓3か国の共通課題から3つのサブテーマを設け、それに基づき各国代表者に事例を発表していただきました。ここでは、日本の代表である3自治体の事例発表について紹介します。

サブテーマ①「伝統文化の保護と観光産業の発展」で発言いただいた、岐阜県高山市西倉良介副市長は、高山市の歴史的町並みと祭り屋台、伝統



事例発表の様子

工芸の継承といった伝統文化の保護には、住民の伝統を守る熱い思いと同時に、費用面での補助を含めた行政の取り組みが両



熱心に聴き入る会場の聴衆

輪として必要であることを強調されました。また、中部・北陸9県で「昇龍道プロジェクト」を立ち上げ、広域連携による観光プロモーションも実施されていることも説明されました。

続くサブテーマ②「環境配慮型の都市計画と持続可能な発展」では、仙台市稲葉信義副市長に仙台市の復興計画の一つである「省エネ・新エネプロジェクト」について発表していただきました。「省エネ・新エネプロジェクト」とは、賢く使う・生み出す・開発することによって、「持続的なエネルギー供給を可能にする」というプロジェクトであり、エコモデルタウン、太陽光発電、藻類バイオマスなど、さまざまな取り組みを紹介していただきました。最後に再生可能エネルギーを活用した「新次元の環境・防災都市」を実現し、東北の復興と持続可能な社会の構築に取り組むという宣言がなされました。

サブテーマ③「地方政府の交流を通じた地域経済の発展」については、長崎県国際課天野俊男課長に発表いただきました。長崎県は地理的にも中国・韓国と非常に近く、歴史的にも関わりが深いことから、中国・韓国の建造物や文化が色濃く残っています。上海や釜山との間ではフェリーの定期便も就航し、近年観光客が増加しており、地域経済の活性化につながっていることがわかりました。また、中国から伝わった麺料理をもとに生まれた「長崎ちゃんぽん」ですが、それが現在は韓

国でヒットしているという話は食文化での日中韓の縁を感じさせるエピソードでした。

まとめ

今や日本・中国・韓国は経済的にも切り離せない密接な関係にあります。また、3か国の地方政府間の積極的な交流は、地域の活性化だけではなく、国家や北東アジア全体の繁栄につながるものです。

現在日本の地方自治体の国際化戦略は、経済交流が大きなテーマとなっていますが、今回の会議では、国際交流の原点である人と人との交流、真の相互理解のための草の根交流の重要性が訴えられており、各自治体は経済戦略と人間同士の交流とを両輪として国際交流を進めていく必要があるとの認識を共有しました。

本会議の主なプログラム	
主題	『交流協力を深め、 地方政府の共同発展を促進する』
	中国 雲南省昆明市 市長 張祖林
	日本 神奈川県藤沢市 市長 鈴木恒夫
サブテーマ①	韓国 忠清南道 副知事 具本忠
	『伝統文化の保護と観光産業の発展』
	日本 岐阜県高山市 副市長 西倉良介
サブテーマ②	韓国 慶尚南道咸陽郡 郡守権限代行 千聖奉
	中国 浙江省人民政府外事弁公室 副主任 陸国瀨
	『環境配慮型の都市計画と持続可能な発展』
サブテーマ③	韓国 ソウル特別市江東区 副区長 金榮翰
	韓国 全羅南道順天市 副市長 徐福男
	中国 江蘇省無錫市人民政府外事弁公室 副主任 許睿煜
サブテーマ④	日本 宮城県仙台市 副市長 稲葉信義
	『地方政府の交流を通じた地域経済の発展』
	中国 四川省人民政府外事弁公室 副主任 羅雷
サブテーマ⑤	日本 長崎県国際課 課長 天野俊男
	韓国 慶尚北道亀尾市 経済通商局長 李弘憲

※各代表の発表内容はホームページでご覧になれます
<http://www.clair.or.jp/>

『第15回日中韓地方政府交流会議』は富山県にて開催します

次回2013年の会議は、富山県において開催します。観光、経済、環境など多様な面から、中国、韓国との共通の課題についての議論が期待されます。テーマや日程は後日、ホームページ等にてご案内します。

【問い合わせ】(財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課

電話：03-5213-1723 メール：koushin@clair.or.jp